平成２７年２月定例記者会見　報道資料

平成２７年２月１２日

観光振興課
電話　0742－34－5135（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

幻の大仏鉄道の遺構をめぐる観光パンフレットの完成について

明治時代に加茂と奈良を結んでいた大仏鉄道は、「幻の大仏鉄道」とも呼ばれ、その遺構をめぐるルートは、人気のウォーキングコースとなっています。

この度、奈良市及び木津川市は、１００年以上前に廃線となった大仏鉄道の遺構を散策するための観光パンフレット「幻の大仏鉄道遺構めぐりマップ」を共同で作成しました。

■大仏鉄道とは

「大仏鉄道」とは、明治時代の鉄道会社「関西（かんせい）鉄道」の加茂と奈良を最短距離で結んだ、約 10 キロの路線の愛称です。

この路線は、明治 31 年に加茂駅から大仏駅（奈良市法蓮町・明治 40 年に廃止）の区間が開業し、大仏駅は東大寺の大仏詣で多くの人々が利用して、同社の花形路線となりました。

翌年、奈良駅まで路線を延伸しましたが、明治 40 年に加茂駅から木津駅を経て奈良駅へ至る平坦なルート（現在のＪＲ関西本線）が開通すると、黒髪山など急坂の難所を抱えているこの路線は廃線になりました。

営業期間はわずか９年で、当時の資料がほとんど残っていないことから、同鉄道は「幻の大仏鉄道」と呼ばれています。

■奈良市・木津川市の共同制作と市民団体の協力

奈良市と木津川市は、路線跡に点在する大仏鉄道の遺構をめぐるウォーキングルートを広く知っていただくため、ルートマップを掲載したパンフレットを共同で作成しました。

パンフレットの作成にあたっては、大仏鉄道を長年研究している市民グループ「大仏鉄道研究会」をはじめ、地縁団体奈保町自治会、奈良阪町自治会、NPO 法人なら・観光ボランティアガイドの会、NPO 法人ふるさと案内かも等の協力を得て、ウォーキングルートを歩く際に便利なパンフレットを目指しました。

■パンフレットの内容

パンフレットには、ルートマップや遺構の説明のほか、今まであまり注目されてこなかった近代の奈良市、木津川市に焦点を当て、往時の面影を残す建築物や鉄道構造物なども紹介し、遺構めぐりをより一層楽しんでいただける内容となっています。

また、スマートフォン等でパンフレットの QR コードを読み取ることで、英語・中国語・韓国語での表示及び音声読み上げが可能です。

■パンフレット配布場所

奈良市：奈良市役所観光振興課、奈良市総合観光案内所（JR 奈良駅旧駅舎）、JR・近鉄奈良駅観光案内所、観光センターなど

木津川市：木津川市役所観光商工課、各支所、木津川市観光協会など

■案内看板設置

パンフレットのデザインをもとにして、ルート上の６ヶ所（奈良市内３ヶ所、木津川市内３ヶ所）に遺構の案内看板を設置します。今春、設置が完了する予定です。

（下記の数字は、別紙パンフレットの遺構番号です。）

奈良市内：

奈良市総合観光案内所（JR 奈良駅旧駅舎）、⑩黒髪山トンネル跡付近（奈保町）、⑨鹿川隧道付近（奈良阪町）

木津川市内：

③観音寺橋台付近（加茂町観音寺）、④鹿背山橋台付近（鹿背山）、⑤梶ヶ谷隧道付近（鹿背山）※来年度、さらに４ヶ所設置予定

■奈良市・木津川市の合計事業額

１，７７９，２４０円（奈良市７９２，１２０円、木津川市９８７，１２０円）

・パンフレット　３５４，２４０円　２万部（奈良市１万部、木津川市１万部）

・奈良市案内看板設置　６１５，０００円

奈良市内３箇所（奈良市総合観光案内所、黒髪山トンネル跡、鹿川隧道）

・木津川市案内看板設置　８１０，０００円

木津川市内３箇所（観音寺橋台、鹿背山橋台、梶ヶ谷隧道）

明治41年測量同45年製版発行　2万分の1　正式地形図　京都府立総合資料館所蔵
発行者　大日本帝国陸地測量部(現 国土地理院)　国土地理院承認書号 平26近複第38号

大仏鉄道研究会おすすめスポット

1 喫茶(きっさ) フルーヴ(いづみ福祉会)

ひとつずつ手作業で作られる「茶処ラスク」は、2013年スウィーツ甲子園 京都予選会でグランプリに輝いた名菓です。
☎0774−76−7210
定休日　土曜日・日曜日・祝日

2 クローバー牧場(ぼくじょう)

「自然を愛する」から生まれた特別牛乳が人気です。自然の風味を生かしたクリーミーな味わいで、あと味さらり。
☎0774−76−7717

3 レガル(regal+e)

大仏鉄道研究会がイチ押しするパン屋。なかでもおすすめのパンは、バターが香るバターロールです。
☎0774−73−1788
定休日　第1・3・5月曜日、毎週火曜日

4 Lier(リエ)・幡(ばん)

季節に合わせた衣・食・住にまつわるアイテムを多数展開。併設のカフェでは自然食が味わえます。
☎0774−71−0121
定休日　水曜日

5 国境食堂(こっきょうしょくどう)

鹿川隧道の少し南の場所にあり、非常に大きなカツ丼が有名です。
☎0742−22−8725
定休日　無し

6 畠山製菓(はたけやませいか)

一枚一枚手焼きのせんべいのお店で、「大仏鉄道せんべい」などが人気です。
☎0742−22−6531
定休日　第1・3日曜日

7 船橋通り商店街(ふなばしどおりしょうてんがい)

近鉄油阪駅があった昭和期は大変栄えた歴史ある商店街です。今も、通りにはお店が並び、そのおもかげを残しています。

8 奈良のうまいものプラザ

奈良県の農・林・食のアンテナショップで、県産の農産物、特産品等の販売と地元素材を使ったお食事が楽しめます。
☎0742−26−0088
定休日　無し

加茂・奈良へのアクセス　JR・近鉄利用

■大阪から

大阪 —(大阪—加茂 大和路快速約65分)— JR加茂
大阪 —(JR奈良 約15分)— JR加茂
JR奈良 —(徒歩 約20分)— 近鉄奈良
大阪難波 —(快速急行 約40分)— 近鉄奈良

■京都から

京都 —(京都—奈良 みやこ路快速約50分)— JR奈良
京都 —(JR木津 約10分)— JR奈良
JR木津 —(大和路快速 約5分)— JR加茂
JR奈良 —(徒歩 約20分)— 近鉄奈良
JR加茂 —(特急 約35分 / 急行 約50分)— 近鉄奈良

■問い合わせ
奈良市観光振興課　☎0742-34-5135
木津川市観光商工課　☎0774-75-1216

QR Translator
Scan to get the info your own language.

平成27年2月発行

幻の大仏鉄道

遺構めぐりマップ

奈良市・木津川市

協力　大仏鉄道研究会、地縁団体奈保町自治会、奈良阪町自治会
NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会、NPO法人ふるさと案内かも

わずか9年の〝幻〟

今から100年以上前、「大仏鉄道」が走っていました。

大仏鉄道とは、当時の鉄道会社「関西(かんせい)鉄道」の加茂と奈良を結ぶ、わずか9.9kmの路線の愛称です。

明治31年4月の開業後、終着駅の「大仏駅」は東大寺大仏殿の最寄り駅として、大いに賑わいました。

翌年5月、同社は大仏駅から奈良駅へ路線を延長。奈良駅への乗り入れを果たすと、観光の拠点は、大仏駅から奈良駅へと次第に移っていきました。

そして明治40年8月、加茂駅から木津駅を経て奈良駅へと至る平坦なルートが開通すると、急坂の難所を抱える大仏鉄道は休止となり、同年11月に廃線。わずか9年の歴史に幕を下ろしました。

大仏鉄道は、営業期間が短く、当時の資料も乏しいことから「幻の大仏鉄道」と呼ばれています。路線の跡には隧道(ずいどう=川の水や人を通すためのトンネル)や橋台(橋の上部構造の両端を支える基礎)などの遺構が所々に残され、1世紀前の姿を今に伝えています。

表紙の絵のような色鮮やかな深紅の蒸気機関車「電光(いなづま)号」が駆け抜けたという幻の鉄道。当時を思いながら廃線跡をたどれば、周囲の景色も一層美しく見えるかもしれません。

遺構めぐりマップ

全行程:約13km　所要時間:約3～4時間（徒歩）

JR奈良駅

1.2km 20分

⑫ 佐保川橋脚跡
佐保川に架かる下長慶橋付近の川底に残る、レンガ製橋脚の基底部です。

20m 1分

⑪ 大仏鉄道記念公園

大仏駅の跡地に、奈良市と地元自治会の協力で、平成4年に造られた公園です。

1.6km 25分

⑩ 黒髪山トンネル跡

昭和41年頃まで残っていた、大仏鉄道唯一のトンネル。道路拡張で取り壊されて現在の姿に。

1km 15分

⑨ 鹿川隧道
農業用水路の目的で造られた石積みの隧道。現在も利用されています。

1.6km 20分

⑧ 松谷川隧道

レンガ造りの隧道。色の違うレンガが交互に配置されています。

1.2km 20分

⑦ 井関川橋梁跡
構造物の詳細は不明。南北に走る道に、当時の軌道の雰囲気が残っています。

1.1km 20分

JR加茂駅

0.1km 2分

① ランプ小屋

赤レンガ造り、切り妻屋根のランプ小屋。加茂駅の開業時に建てられました。

0.4km 5分

② C57SL展示
「貴婦人」の名で親しまれた昭和12年製の機関車。関西本線を走っていました。

2.2km 35分

③ 観音寺橋台

石積みの橋台（手前）。現在利用されている関西本線の橋台と並び位置しています。

1.1km 15分

④ 鹿背山橋台
石積みの橋台。堅固な構えに魅了される人も多く、遺構の中でも人気のスポットです。

1.1km 15分

⑤ 梶ヶ谷隧道

アーチ部分はレンガ造り、下部は石積みの隧道です。内部を歩くことができます。

0.3km 5分

⑥ 赤橋
レンガ造りの橋台。生活道路として使用されており、現役で活躍しています。

ぶらり寄り道　近代の足跡

木津駅周辺　鉄道の歴史を身近に

A 片町線新木津駅レンガ構造物
大仏鉄道の歴史にも大きく関わった新木津駅は、明治44年に廃止された駅です。レンガの遺構が残っています。

B 片町線上戸川橋梁
レンガ造りのどっしりとした橋梁で、レンガの積み方はイギリス積み。枕石が上部に2ヵ所設けられています。

C 奈良線上戸川橋梁
イギリス積みのレンガ造り。桁下が1.7メートルと低く、独特の雰囲気があります。枕石の位置などから、軌道の変遷が偲ばれます。

D 木津駅東西連絡通路
JR木津駅の東口と西口をつなぐ連絡通路に、かつてのレンガ造りが残されています。連絡通路内に3ヵ所、その姿を見ることができます。

E 木津駅プラットホーム
JR木津駅の歴史は古く、明治29年に奈良鉄道の駅として開業しました。その長い歴史を示すように、ホームには、レールを再利用した柱があります。

奈良市中心部　西洋化進んだ建築物

F 奈良少年刑務所
監獄の近代化に取り組んだ明治政府が整備した五大監獄の一つ。当時の受刑者が施工しました。正門は欧州の古城を思わせます。

G 奈良女子大学記念館
欧州の建築様式「ハーフティンバー」を採用した木造洋風建築。明治42年に完成しました。春と秋に一般公開されます。

H 奈良国立博物館なら仏像館
木骨レンガ造り、モルタル装、石貼りの本格的洋風建築です。設計者の片山東熊は迎賓館などを設計した宮廷建築家でした。

I 南都銀行本店
西洋建築の古典様式を採用した銀行建築です。正面には古代ギリシアの建築様式「イオニア式」の柱列が並んでいます。

J JR奈良駅旧駅舎
瓦ぶきの屋根や相輪など、随所に寺院建築のデザインが採用されています。近代化産業遺産に認定されています。

明治の近代化遺産を残してのまちづくりを！

当会の当面の課題は次の4つです。

● 1つ目は木津地区のニュータウン開発問題で、ここには赤レンガの橋脚や隧道等昔の大仏線開通当時の原風景が色濃く残っています。平成20年1月、地元の「鹿背山の大仏鉄道遺構に親しむ会」の方々が立ち上り、市に保存を要請されました。　当会もこの会と協力して保存の実現を図るべく努めていく事です。

● 2つ目は大仏鉄道の遺構や公園の清掃や保存周知に努め、併せて遺構の案内標識や説明板等の設置に協力、更にパンフレットや地図等の発行、大仏鉄道に関する展示会や発表会、ハイキング等を行います。

● 3つ目は、大仏鉄道が実際に存在した事を末長く多くの方に知って戴く為に、小学生を対象に「紙芝居」を各所で上演させて戴き、併せて総合学習に役立つお話をさせて戴きます。今後はこの紙芝居を大仏線の沿線の全ての小学校に拡大巡回上演し、一層充実する事です。

● 4つ目は大仏鉄道の栞の改訂、資料集の作成、発行、本の出版、ビデオやDVDの製作・販売も行い、より有効な活動に貢献する事です。これらの活動により、街づくりにも貢献したいと考えています。

大仏鉄道研究会

当研究会は、100年前に奈良の町を9年間走って消えていった大仏鉄道を研究し、その歴史的価値をPRすると共に奈良から加茂（木津川市）にかけて残っている遺構を、美しい里山の風景と共に保存し、新しい観光スポットを創造し、併せて街づくりにも貢献する事を目指し、奈良市及び木津川市と協力してその実現を図る事を願い結成された鉄道愛好家の会です。

幻の大仏鉄道

1898～1907

大仏鉄道の遺構を里山の景観とともに保存しよう！

大仏駅のある風景

大仏鉄道は

大仏鉄道とは、現在のJR関西本線の前身である関西鉄道株式会社が、名古屋方面から大阪への進出を目指して延長し、「加茂駅」から現在の現JR奈良駅の北約1kmの地点に仮設的に造られた「大仏駅」間を結ぶ距離約8kmの一支線（大仏線）の通称です。

この大仏駅が開業したのは明治31年4月ですが、このお陰で名古屋・伊勢方面からの大仏詣客が大勢利用し始め、東大寺転害門に通じる一条通りが大いに賑わいました。

32年5月には念願の奈良駅への延長・乗り入れにも成功し、大阪鉄道に乗り継いで大阪への交通の便も大幅に改善されました。

しかしその結果大仏駅の利用客は減少し、奈良駅からの利用客が増加していきました。その上、大仏線は急坂の黒髪山トンネルを越える難所や、起伏の多い路線を抱えており、加茂～新木津間に新設された平坦路線が明治40年8月に片町線・奈良線と共に木津駅に直結する事に成功し大仏線は休止に追い込まれていきました。

鉄道の国有化法が明治39年3月に国会を通過、約2年間で大私鉄会社17と主要路線が国有化されました。大仏線は明治40年8月に休止、明治40年11月に廃業となり9年という短い生涯を終えました。

大仏線は営業期間の短い田舎の小路線であり、また国有化直前に営業休止したため当時の資料に乏しく、その全貌を知ることは、なかなか難しくまさしく「幻の大仏鉄道」といえる路線です。

関西鉄道株式会社の路線図（明治40年9月）

参考資料